

■ 趣 旨

本市における農業施策の現状把握と今後の農業施策検討、プランの策定時等の参考資料とするため、第6次豊橋市総合計画及び第3次産業戦略プランで定める本市における農業施策の体系と主な取組をまとめた。

■ 目 標（めざす姿）

農業産出額（推計）を2019（令和元）年で382億円を2025（令和7）年までに430億円とする。

第6次総合計画 指標	現況値2019	目標値2025
中心経営体数（実質化された人・農地プラン）（累計）	-（※）	15経営体
新規就農者数（累計）	-（26人/年）	200人
農業生産基盤整備面積（累計）	145.9ha	381ha

（※）参考：既存の人・農地プランにおいて制度融資を活用している中心経営体数=約3経営体/年

2 現況と課題

- ▶露地野菜、施設野菜、畜産物、花きなど、多種多様な農産物を生産し、全国有数の農業産出額を誇る本市でも、農業現場では担い手不足や労働力不足が深刻な課題となっています。
- ▶気候変動の影響や自然災害による被害を最小限に抑えるため、環境制御機能を備えた低コスト耐候性ハウス等の整備を積極的に進めています。
- ▶不整形や小規模な農地では、農作業の効率性が低く、離農や耕作放棄の増加につながっています。また、排水機場や排水路等の農業生産基盤の老朽化による能力低下が懸念されています。
- ▶豊橋産農産物の東南アジア諸国等への継続したプロモーション活動により、輸出量や品目数の増加につながっています。今後は、国内外の関係者との連携を一層強化するとともに、他産地・他国との差別化を図る取り組みが必要です。
- ▶新型コロナウイルス感染症のまん延により影響を受けた地元産業を支える視点からも、地産地消や食育の理解を深める取り組みが必要です。
- ▶農家の経営を安定化させる手段のひとつとして、6次産業化による農産物加工品の開発・販売を進めています。
- ▶2019（令和元）年に、本市の食や農業などの魅力の発信拠点となる道の駅「とよはし」が開駅し、市内外から多くの方が訪れています。

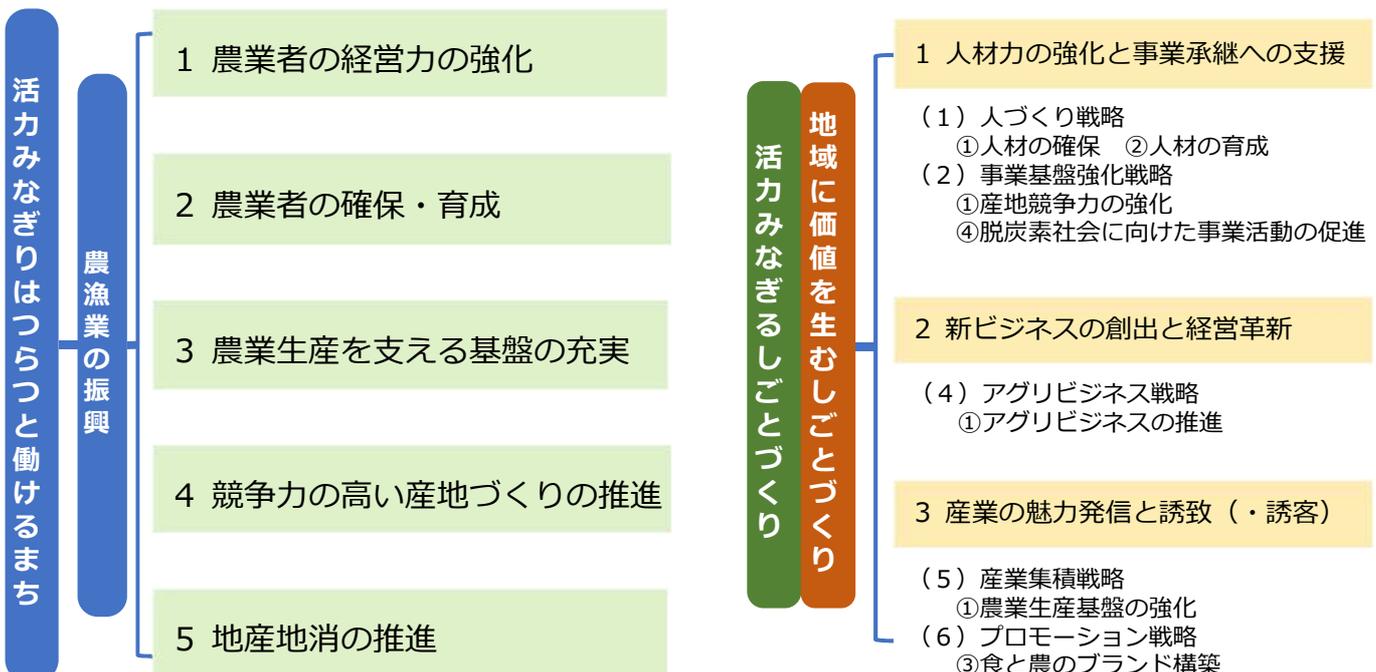
3 施策体系と基本方針・戦略

■ 第6次総合計画

農業者の生産力や経営力を高めるとともに、安全・安心で魅力あふれる農産物を生産することで、消費者に選ばれる産地を目指します。

■ まちづくり戦略(個別戦略)・産業戦略プラン

地域の力を集結し、地域産業の活性化に向け、魅力的な働く場の創出や新たな投資を生み出す好循環を確立します。



4 基本方針と主な取組

① 農業者の経営力の強化

産業戦略プラン取組目標	基準値(2020)	目標値(2025)
戦略作物の作付面積	195.5ha	300ha
農業生産基盤整備面積(累計)	145.9ha	381ha

農業経営の安定とさらなる発展のため、自然災害などのさまざまなリスクへの備えを促すとともに、農業者による設備投資を支援します。また、経営規模の拡大を図る農業者への農地集積を進めます。

- 農業団体等利子補給補助金
- 経営体育成支援事業補助金
- 農地集積推進事業費
- 水田農業経営所得安定対策推進費補助金
- 農作物鳥獣被害防止事業費
- 農畜産物生産奨励事業費
- 鶏卵生産者経営安定対策事業補助金
- 畜産配合飼料価格安定事業補助金
- 園芸産地事業継続強化対策事業補助金
- 環境保全型農業直接支払事業補助金
- 水田農業支援事業費
- 家畜伝染病予防対策事業費

第3次産業戦略プラン：1（2）①④、3（5）①

② 農業者の確保・育成

産業戦略プラン取組目標	基準値(2020)	目標値(2025)
新規就農者数（累計）	—	200人

担い手不足や労働力不足を解消するため、新規就農者の確保と担い手の育成を支援するとともに、先端農業技術を学ぶことのできる環境を充実し、次世代農業の人材育成に取り組みます。また、女性、障害者、外国人などさまざまな人たちが活躍できる環境の整備を図ります。

- 担い手育成事業費
- 研修事業費
- 農業後継者花嫁花婿対策推進事業補助金
- 次世代「農力」UPアカデミー事業費

第3次産業戦略プラン：1（1）①②

③農業生産を支える基盤の充実

産業戦略プラン取組目標	基準値(2020)	目標値(2025)
農業生産基盤整備面積(累計)	145.9ha	381ha

農業者が安定的かつ効率的に生産できる基盤を整えるため、ほ場や農道の整備を進めます。また、農地のたん水被害を未然に防止するため、排水機場や排水路の計画的な更新及び維持管理を行います。

- 農業振興地域整備計画推進事業費
- 耕作放棄地解消推進事業費
- 農地利用調査スマート化事業費
- 豊川用水二期事業促進事務費
- 県営かんがい排水事業補助金
- 県営かんがい排水事業負担金
- 単県土地改良事業補助金
- 土地改良施設維持管理事業補助金
- 県営湖岸堤防事業負担金
- 県営ほ場整備事業補助金
- 県営ほ場整備事業負担金
- 農道維持補修事業費
- 農村保全活動推進事業費

第3次産業戦略プラン：3（5）①

④競争力の高い産地づくりの推進

産業戦略プラン取組目標	基準値(2020)	目標値(2025)
戦略作物の作付面積	195.5ha	300ha
農産物の国内プロモーション回数	9回	33回

高品質で収益性の高い農産物等を生産するため、ロボットやICTを活用したスマート農業の導入や施設のリノベーション、農業機械のシェアリングなど生産性を高めるための取り組みを支援します。また、積極的なプロモーション活動を展開して新たな販路の開拓支援とブランド力の向上を図るとともに、6次産業化を支援して農産物等の付加価値を高めます。

- 農産物ブランド化推進事業費
- 豊橋田原広域農業推進会議負担金
- 豊橋産農産物海外販路開拓事業費
- 花のまち豊橋プロモーション事業費
- 次世代施設園芸導入加速化支援事業補助金
- 産地生産基盤パワーアップ事業補助金
- 豊橋市あいち型産地パワーアップ事業補助金
- 高温対策栽培体系転換支援事業補助金
- 畜産クラスター協議会活動費補助金

第3次産業戦略プラン：1（2）①、2（4）①、3（6）③

⑤地産地消の推進

産業戦略プラン取組目標	基準値(2020)	目標値(2025)
農産物の国内 プロモーション回数	9回	33回

豊橋産農産物等の消費拡大を図るため、道の駅「とよはし」や関係団体との連携を強化し、本市が全国に誇る農産物等の魅力を発信するとともに食と農への理解を深めます。

- 道の駅食農拠点推進事業費
- 地産地消プロモーション事業費
- 飲食店等地産地消活動推進事業費
- 市民ふれあい農園事業費
- 農産物博覧会振興補助金

▶ 第3次産業戦略プラン：2（4）①、3（6）③

美味しいをつくる。
未来を育てる。

豊橋市農業の目指す方向を、職員で考え、みんなで選びました。

■第6次豊橋市総合計画/まちづくり戦略

<https://www.city.toyohashi.lg.jp/40536.htm>



■第3次豊橋市産業戦略プラン

<https://www.city.toyohashi.lg.jp/24481.htm>

